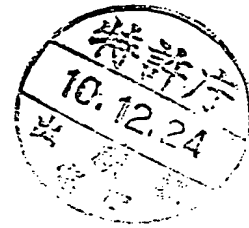




【書類名】 刊行物等提出書
【提出日】 平成10年12月24日
【あて先】 特許庁長官殿
【事件の表示】



【出願番号】 平成 8 年 特許願 第 3 3 0 8 0 8 号
【出願公開番号】 平成 1 0 年 特許出願公開 第 1 1 3 8 3 号
【提出者】

【住所又は居所】 省略

【氏名又は名称】 省略

19824300436

未 照 合

【提出する刊行物等】



刊行物 1 国際公開第 9 7 / 1 4 2 4 4 号パンフレット(1997)

刊行物 2 日経マルチメディア (1 9 9 5 年 1 1 月号) パンフレット(1995)

【提出の理由】

(1) 本願の請求項 1, 2 及び 4 0 に記載された発明は、別紙に示すとおり、刊行物 1 に記載された発明と同一であるので、特許法第 2 9 条の 2 の規定により特許を受けることができないものである。

また、本願の請求項 2 9 に記載された発明は、別紙に示すとおり、刊行物 2 に記載された発明から容易に発明をすることができたので、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができないものである。

(2) 本願請求項 1 に記載された発明と刊行物 1 に記載された発明とを対比すると、刊行物 1 に記載された『通信端末 1 はインターネットサーバ 1 0 のアドレス (例えば、URL) (9 4) を P H S サーバ 7 へ送信する (第 7 頁右上段第 4 ~ 1 5 行目)』点は、本願請求項 1 の『双方向データ通信ネットワークから、選択したリソースの位置情報であるリソースロケータを含むメッセージを受け取る』点と、『リソースロケータを含む前記メッセージを、前記双方向データ通信ネットワークを通して、前記サーバに伝送する』点に対応する。

なお、サーバ宛のメッセージにリソースロケータ (アドレス情報) が含まれている点は、本願には、『一般に、リソースロケータはアドレスを含み、更に付属のデータを含んでいてもよい (特開平 1 0 - 1 1 3 8 3 号公報 : 第 1 3 頁 段落番

号0071 第6～8行目)』と記載されているように、本願出願前に、当業者にとって既に周知技術である。

(3) 本願請求項2に記載された発明と実質的に同一である。

(4) 本願請求項29に記載された発明と刊行物2の記載とを対比すると、刊行物2に記載された『データの処理をサーバー側に別に用意されたアプリケーションで行う(第109頁、左段、下から3行目)』点と、『データを受け取ったWWWサーバーは、データを処理するためのアプリケーションへデータを転送する。アプリケーションは、受け取ったデータを処理したあと、必要があればWWWサーバーに処理されたデータを転送(第109頁、中段、第8～14行目)』する点は、本願請求項29の『前記メッセージに対する応答を生成すべく、前記サーバコンピュータ上のアプリケーションを実行する過程』及び『前記応答を、前記アプリケーションにより特定されたロケーションへ伝送する過程』に対応する。

(5) 本願請求項40に記載された発明と刊行物1に記載された発明とを対比すると、刊行物1に記載された『通信端末1はインターネットサーバ10のアドレス(例えば、URL)(94)をPHSサーバ7へ送信する(第7頁右上段第4～15行目)』点は、本願請求項40の『前記クライアントモジュールが、データの入力終了したとき、前記メモリバッファ内の全ての文字情報を検索し、前記文字情報を含むリクエストを生成』する点に対応する。

なお、入力したデータを含んだリクエストを生成する点において、『一般に、リソースロケータはアドレスを含み、更に付属のデータを含んでいてもよい(特開平10-11383号公報:第13頁 段落番号0071 第6～8行目)』と、本願にも記載されているように、例えば、インターネット上におけるショッピングで注文する場合、ユーザーが入力した注文数(データ)に、発信先のアドレスを付けることは、本願出願当時、当業者にとって既に周知技術であり、刊行物2(第109頁、中段、第8～14行目参照)にも同様の内容が記載されている。

(6) 以上のとおり、本願の請求項1, 2及び40に記載された発明は、刊行物1に記載された発明であるから、特許法第29条の2の規定により特許を受けることができないものである。

さらに、本願の請求項 29 に記載された発明は、刊行物 2 に記載された発明から容易に発明をすることができたので、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができないものである。

【添付書類の目録】

【物件名】 刊行物 1 の写し

【物件名】 刊行物 2 の写し

請求項	特許請求の範囲（特願平8-330808号）	刊行物 1
1	携帯電話機（105）、双方向ページャー（106）、及び電話機（107）からなるグループから選択された双方向データ通信デバイスとコンピュータとの間の通信のための双方向データ通信システムであって、	第3頁/左下/第4～5行 本発明は、無線網を利用した情報提供装置及び携帯通信端末に関する。
	(a) 双方向データ通信ネットワーク（110、111、または112）と、 (b) サーバコンピュータと、 (c) 前記双方向データ通信ネットワーク（110、111、または112）に接続された双方向データ通信デバイス（105、106、または107）とを有することを特徴とし、	図1 (a) PHS網(2) (b) 基地局(5)+PHSサーバ(7) (c) 通信端末(1)
	(b) 前記サーバコンピュータが、 (b-1) 前記双方向データ通信ネットワークに接続された双方向データ通信インタフェースモジュール（748）と、 (b-2) 前記双方向データ通信インタフェースモジュールに接続されたサーバ（121、131、または141）とを有することを特徴とし、	第5頁/右上/第2～12行、図1 (b-1) 基地局(5) (b-2) PHSサーバ(7)
	(d-1) 前記サーバ（121、131、または141）が、前記双方向データ通信ネットワークから、選択したリソースの位置情報であるリソースロケータを含むメッセージを受け取ることを特徴とし、 (d-2) 前記サーバ（121、131、または141）が、前記リソースロケータを用いて前記メッセージを処理することを特徴とし、 (d-3) 前記サーバ（121、131、または141）が、前記メッセージに対する応答を、前記双方向データ通信ネットワーク（110、111、または112）を通して伝送することを特徴とし、	第7頁/右上/第4～15行 ・ PHSサーバ(7)が、通信端末(1)が送信したアドレス情報(94)を受け取る点（図13参照）。 ・ PHSサーバ(7)が、ユーザの要求に従い、接続処理、データ処理する点。 ・ PHSサーバ(7)が、マルチメディア情報を通信端末(1)に送信する点。
	(c) 前記双方向データ通信デバイス（105、106、または107）が、 (c-1) 前記双方向データ通信ネットワークに接続されたネットワークインタフェースモジュール（714）と、 (c-2) 前記ネットワークインタフェースモジュールに接続されたクライアントモジュール（702）とを有することを特徴とし、	第5頁/左上/第11行～ 第5頁/右上/第1行 通信端末(1)において、 (c-1) 電話通信手段(26) (c-2) CPU(20)
	(e-1) 前記クライアントモジュールが、前記リソースロケータを含む前記メッセージを、前記双方向データ通信ネットワークを通して、前記サーバ（121、131、または141）に伝送することを特徴とし、 (e-2) 前記クライアントモジュールが、前記サーバ（121、131、または141）からの前記メッセージに対する前記応答を処理することを特徴とし、	第7頁/右上/第4～15行 (e-1) 通信端末(1)が情報を PHSサーバ(7)に送信する点。 第5頁/左上/第11行～ 第5頁/右上/第1行 (e-2) CPU(20)がマルチメディア情報の送受信の処理を行う点。
	(f) 前記応答が、ユーザが前記双方向データ通信ネットワーク（110、111、または112）上で対話を行うための情報を含むことを特徴とする双方向データ通信システム。	第5頁/左上/第11行～ 第5頁/右上/第1行 CPU(20)がマルチメディア情報の送受信の処理を行う点。

請求項	特許請求の範囲（特願平8-330808号）	刊行物 1
2	携帯電話機とサーバコンピュータとの間の通信のための双方向データ通信システムであって、	第3頁/左下/第4～5行 本発明は、無線網を利用した情報提供装置及び携帯通信端末に関する。
	(a)データ処理対応型の携帯電話通信ネットワーク（110）と、 (b)サーバコンピュータと、 (c)前記データ処理対応型の携帯電話通信ネットワーク（110）に接続された携帯電話機（105）とを有することを特徴とし、	図1 (a) PHS網(2) (c) 基地局(5)+PHSサーバ(7) (c) 通信端末(1)
	(b)前記サーバコンピュータが、 (b-1)前記データ処理対応型の携帯電話通信ネットワークに接続された双方向データ通信インタフェースモジュール（748）と、 (b-2)前記双方向データ通信インタフェースモジュールに接続されたサーバ（121、131、または141）とを有することを特徴とし、	第5頁/右上/第2～12行、図1 (b-1) 基地局(5) (b-2) PHSサーバ(7)
	(d-1)前記サーバ（121、131、または141）が、前記データ処理対応型の携帯電話通信ネットワーク（110）から、前記サーバのアドレスを含む選択したリソースの位置情報であるリソースロケータを含むメッセージを受け取ることと特徴とし、 (d-2)前記サーバ（121、131、または141）が、前記リソースロケータを用いて前記メッセージを処理することと特徴とし、(d-3)前記サーバ（121、131、または141）が、前記メッセージに対する応答を、前記データ処理対応型の携帯電話通信ネットワーク（110、111、または112）を通して伝送することと特徴とし、	第7頁/右上/第4～15行 ・ PHSサーバ(7)が、通信端末(1)が送信したアドレス情報(94)を受け取る点（図13参照）。 ・ PHSサーバ(7)が、ユーザの要求に従い、接続処理、データ処理する点。 ・ PHSサーバ(7)が、マルチメディア情報を通信端末(1)に送信する点。
	(c)前記携帯電話機（105）が、 (c-1)前記データ処理対応型の携帯電話通信ネットワークに接続されたネットワークインタフェースモジュール（714）と、(c-2)前記ネットワークインタフェースモジュールに接続されたクライアントモジュール（702）とを有することを特徴とし、	第5頁/左上/第11行～ 第5頁/右上/第1行 通信端末(1)において、 (c-1) 電話通信手段(26) (c-2) CPU(20)
	(e-1)前記クライアントモジュールが、前記リソースロケータを含む前記メッセージを、前記データ処理対応型の携帯電話通信ネットワーク（110）を通して、前記サーバ（121、131、または141）に伝送することと特徴とし、 (e-2)前記クライアントモジュールが、前記サーバ（121、131、または141）からの前記メッセージに対する前記応答を処理することと特徴とし、	第7頁/右上/第4～15行 (e-1) 通信端末(1)が情報を PHSサーバ(7)に送信する点。 第5頁/左上/第11行～ 第5頁/右上/第1行 (e-2) CPU(20)がマルチメディア情報の送受信の処理を行う点。
	(f)前記応答が、ユーザが前記データ処理対応型の携帯電話通信ネットワーク（110）上で対話を行うための情報を含むことを特徴とする双方向データ通信システム。	第5頁/左上/第11行～ 第5頁/右上/第1行 CPU(20)がマルチメディア情報の送受信の処理を行う点。

請求項	特許請求の範囲（特願平 8 - 3 3 0 8 0 8 号）	刊行物 2
29	サーバコンピュータと通信を行うべく携帯電話機、双方向ページャー、及び電話機からなるグループから選択された双方向データ通信デバイスを使用する方法であって、	110 頁/図 7
	(a) 双方向データ通信ネットワークに接続された前記双方向データ通信デバイスのユーザによって入力されたデータに応じて、前記双方向データ通信デバイスのマイクロコントローラ上で動作するクライアントモジュールにより、サーバコンピュータを特定する、選択したリソースの位置情報であるリソースロケータを含むメッセージを発生する過程と、	109 頁/中段/第 1～8 行 ユーザ側からサーバに、注文品の個数(データ)及び、アドレス(http://www.〇〇/)を送信する点。
	(b) 前記メッセージを、前記双方向データ通信デバイスを通して前記サーバコンピュータへ伝送する過程と、	同上
	(c) 前記メッセージに対する応答を生成すべく、前記サーバコンピュータ上のアプリケーションを実行する過程と、	109 頁/左段/第 32～34 行 受け取ったデータをするため、サーバ上のアプリケーションを実行させる点。
	(d) 前記応答を、前記アプリケーションにより特定されたロケーションへ伝送する過程とを有することを特徴とする、	110 頁/図 7 処理されたデータがユーザに伝送される点。
	サーバコンピュータと通信を行うべく携帯電話機、双方向ページャー、及び電話機からなるグループから選択された双方向データ通信デバイスを使用する方法。	110 頁/図 7

請求項	特許請求の範囲（特願平 8-330808 号）	刊行物 1
40	A. メモリと、	図 2 メモリ(21)
	B. ディスプレイと、	図 2 表示手段(23)
	C. 前記ディスプレイをドライブすべく前記ディスプレイに接続されたディスプレイモジュールと、	図 2 表示手段(23)
	D. 複数のキーを備えたキーパッドと、	第 5 頁/左上/第 27 行～ 第 5 頁/右上/第 1 行 入力部(25)が、キーパッドでも良い点。
	E. 前記キーパッドに接続され、ユーザが前記複数のキーの 1 つを押したとき、押されたキーを特定する情報を前記メモリ内に格納するキーパッドモジュールと、	第 5 頁/左上/第 13～16 行 メモリ(21)に処理データが一時的に記憶される点。
	F. 前記双方向データ通信ネットワークから情報を受け取り、そこへ情報を送出するネットワークインタフェースモジュールと、	図 2 電話通信手段(26)
	<p>G. 前記ディスプレイモジュール、前記目とワークインタフェースモジュール、前記キーパッドモジュール、及び前記メモリに接続されたクライアントモジュールとを有する、マイクロコントローラを備えた双方向データ通信デバイスにおいて、</p> <p>(g-1)前記クライアントモジュールが、前記マイクロコントローラ上で動作することを特徴とし、</p> <p>(g-2)前記クライアントモジュールが、前記キーパッドモジュールからの信号に応じて、前記押されたキーを特定する前記情報を処理し、メモリバッファ内に文字情報を格納することを特徴とし、</p> <p>(g-3)前記クライアントモジュールが、データの入力終了したとき、前記メモリバッファ内の全ての文字情報を検索し、前記文字情報を含むリクエストを生成して前記ネットワークインタフェースモジュールに供給し、次に前記ネットワークインタフェースモジュールが、前記文字情報を含む前記リクエストを、前記双方向データ通信ネットワークを通して伝送することを特徴とするマイクロコントローラを備えた双方向データ通信デバイス。</p>	<p>図 2 表示手段(23)、電話通信手段(26)、入力手段(25)、CPU(20)</p> <p>(g-1)第 5 頁/左上/第 11～13 行 CPU(20)がマルチメディア情報の送受信の処理を行う点。</p> <p>(g-2)第 5 頁/左上/第 13～16 行 メモリ(21)に処理データが一時的に記憶される点。</p> <p>(g-3) 第 7 頁/右上/第 4～6 行、 図 13 通信端末(1)が、PHS サーバ(7)にアドレス情報を送信する点。</p>